

研究・調査報告書

分類番号	報告書番号	担当
A-169	12-039	滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学
題名 (原題/訳)		
Parental alcohol-specific rules and alcohol use from early adolescence to young adulthood. 親の子供に対する飲酒に関する規制と早期未成年期から若年青年期にかけての飲酒		
執筆者		
Mares SH, Lichtwarck-Aschoff A, Burk WJ, van der Vorst H, Engels RC.		
掲載誌 (番号又は発行年月日)		
J Child Psychol Psychiatry. 2012;53:798-805.		
キーワード		
両親、子、飲酒、規則、飲酒の抑止		
要 旨		
目的: いくつかの研究では、早期からの飲酒、過度の飲酒を予防するために、未成年期における両親の子供に対する飲酒に関する規制の重要性を強調している。しかし、多くの試験では短期間の追跡期間しか有しておらず、また直接的な親の統制が弱まり、未成年の飲酒が増加する適切な成長期をカバーできていない。そこで、本研究の目的は、オランダにおける、親の飲酒に関する規制と早期未成年期から若年青年期にかけての飲酒との関連について発展的な観点を提供することである。		
方法: 428人の父親、母親、および2つの年齢集団(13と15歳)の未成年の子からなるオランダ人家族について、6年間追跡調査をおこなった。飲酒に対する両親の規則の経時的な効果を判断するために、latent growth curve analytic approach with time-varying covariateを用いた。		
結果: 経時的に未成年飲酒は増加し、その一方で飲酒に関する規制は減少した。しかし、もっとも重要なことは、飲酒に関する規制の方針の遅れが、一致してそれに引き続く両兄弟に対する6つの評価による飲酒を予測した。よって、厳格な飲酒に関する規制が若年期の飲酒の低い傾向と関連していた。		
結論: 両親は年齢ともに飲酒に関する規制をいくらか弱め、そして子の飲酒は増加するが、親の飲酒に関する規則は子の青年期の飲酒の抑止に対して依然重要なままである。よって、両親は自らの権限について信頼すべきであり、また未成年の子の飲酒を防ぐため厳格な管理を維持するべきである。		